

しっぽクイズ（先生用・進行シート）

領域・形態・時間	聞くこと・話すこと（やり取り） クラス全体→ペア 15分
ねらい	体の一部（耳・しっぽ・目）のヒントから、かくれている動物を当てる。Who are you? のやり取りに必然を作る。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Hide the card. Show a PART.
カードを画用紙でかくして、体の一部だけ見せる（耳だけ・しっぽだけ）
- 2 Give a hint: Long ears!
英語でヒント（Long ears! / Big eyes! / Long tail!）
- 3 Everyone: Who are you?
全員で声をそろえて Who are you? とたずねる
- 4 Teacher (as the animal): I'm a rabbit!
かくれている動物になりきって答える。当たり前ならカードをオープン！

出題の順番（当てやすい→ひっかけ）

順	見せる部分・ヒント	ねらい
1	Long ears!（ みみ 耳）	rabbit。いちばん当てやすい成功体験から
2	Big eyes!（ め 目）	frog。とび出た目が決め手
3	Long tail!（しっぽ）	mouse? monkey?——2択で割れる回。追加ヒント Small! で決着
4	Long body!（ からだ 体）	snake。ヒントの ことば の幅を広げる
5	ヒントなし・鳴き声 なごえ だけ	ワンワン→英語の鳴き声（Woof woof!）のちがいも紹介

後半はペア戦へ：1人がカードをかくして Who are you? を受ける側に。役の交代で全員が「かくれる側」を体験する。

ルール

（子どもへ）①ヒントはさいごまできく ②Who are you? は みんなで声をそろえて ③当たっても、かくれているどうぶつさんをわらわない（やさしい森のかくれんぼ）

☆レベルアップ！ スペシャル問題は「先生がへんそう」！ 耳のかたちを手でつくるだけでもOK。Who are you? — Guess!

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- 英語の動物の鳴き声（Woof! / Meow! / Squeak!）は文化の窓。日本語との違いに子どもは必ず食いつく
- mouse / monkey の2択で割れる第3問が山場。「追加ヒントを英語で要求する」（One more hint, please!）を教えると、やり取りが二往復になる
- ペア戦の時間を必ず確保する（全体戦だけだと「たずねる側」を全員が経験できない）